

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年4月21日（金） 19時00分～20時45分		
開催場所	西当別コミュニティセンター	出席者	11名
出席議員	後藤議長、島田副議長、岡野議運委員長・古谷議員・澁谷議員・山崎議員、鈴木議員、五十嵐議員		
<p>◎岡野議運委員長開会</p> <p>◎後藤議長挨拶</p> <p>○（後藤議長） 1回目の議会報告会は町内会長や町の団体のトップの方を呼び、議員定数について意見をいただき、前回の選挙のときには、定数を17名から15名にした。それ以前から当別町議会は議会改革を進めてきた。制度の部分、議員定数、議員報酬など、皆さんから意見を聴く中で、改善するべきところを改善し、議会報告会を実施してきた。それまでは、各団体、町内会の役員、一般の方にも入っていただき、広く行政課題や議会としての色々な意見を聴く議会報告会を重ねてきた。皆さんの要望を踏まえたうえで、町の取り組みについて、しっかりとチェックをし、推進していくという立場で報告会を開催させていただいている。特に人口減少、若い世代が少なくなっていく。また少子化がますます進んでいく中で、他の自治体と差別化をして、当別町で子どもを育てたいなど、そういった人たちをどう取り込み、町を維持するかが大きな課題になる。普段地域で、子育てで困っていることやこういう施設や制度があれば、他の人たちも当別に住んでもらえるなどの意見があれば、それを聞いて、実現可能かチェックし、対策をとっていききたい、そのような趣旨で特に子育て世代、またそれに関わっている団体の皆さんに声をかけさせていただき、議会報告会を開催した次第である。</p> <p>◎出席議員 自己紹介</p> <p>◎各定例会についての報告 山崎議員</p> <p>◎議会改革の取り組み 古谷議員</p> <p>◎懇談</p> <p>○（議会） 現在当別町の人口は減少してきている。特に若年層が減ってきているため、今後人口減少が大きな問題となってくる。皆さんから要望、意見等を自由に発言していただければありがたい。事前に配布した項目から伺いたいと思う。まず、この町で子育てしたいと多くの方が思える当別町にするために必要なことについてお聞きしたい。</p> <p>○（町民） 当別町の基幹産業は農業だと思う。それに携わることが学校教育の中で</p>			

あればいいと思う。体験作業ができて、農業に対して、興味を持ってもらい、興味を持った小さな子が将来、就農しやすいような支援があれば、農業を中心とした面白い町になるのではないかと思う。

○（議会） 西当別小学校では、将来の自分達の夢というかたちで小学校高学年からそういう教育をして、将来に向かって何のために勉強をするのかなど目的を持った教育を先生たちは指導していると感じた。自分も農業をやりたいんだという子どもたちに対し、議会も行政に対してそういう機会をもっと教育の一貫としてやってもいいのではないかと思った。

○（町民） テレビで、音威子府村の高校についての番組があった。人口は800人くらいだが、高校生は115人おり、すべて村外から来ている。音威子府美術工芸高校は、美術に特化している高校である。当別町で子育てをするときにこれだと打ち出せるものがあれば我々も広報できるし、当別にしかないもの。農業を学ぶとすれば当別だというものを作っただけならば、農業を志すものは当別に集まるだろうし、美術や他の分野でも集まるのではないかと思う。

○（議会） 農業を教育に取り入れるという話があったが、土地改良区でも田植えを幼児や児童に行っている。学校でも行っていると思うが4月から小中一貫教育が始まったが、カリキュラムの中で当別らしさをどう体験してもらうかという目的の授業が行われる。当別の自然、文化、農業などの体験が人間らしさを取り戻すことにつながると思うし、それが自然豊かな当別でできることと思う。今後小中一貫教育が進んでいく中で、現場の管理を教育委員会だけに任せないで、皆さんも積極的に声を出して、地域と学校が一体となってそういう教育を推進する体制を作り上げてほしいと思う。小中一貫教育の目的の中にそれが入っているので推進していくと思う。高校も大学もある町で、メリットをどう活かして町づくりをするかが課題になる。当別高校に受験する人が今年は普通科72名くらいしかおらず、結果、3クラスから2クラスになってしまった。現在、当別の子が当別高校へ行く割合は2割を切っている。今の中学生がどのようなニーズを持っているか。ニーズを叶えるだけの高校として体力や環境があるかなど高校には伝えているが当別高校は北海道が所管なので、石狩教育局などをお願いをしていく立場であることをご理解いただきたい。音威子府村は、村挙げて、北海道の教育委員会へこういう高校を通じた町づくりをしたい。そのために北海道の高校のこの間口について、こういう趣旨で運営していただきたいというのが認められてこうなっている。離島など高校を核として人口減少に歯止めをかけるという取り組みがあるが、当別町では、役場にドローン係ができた。例えば当別高校園芸デザイン科のカリキュラムに将来の先進的な農業に標準を合わせ、そこに特化させる。衛星データや気象でデータを利用するなど。その技術を学ぶ高校にするなどの案が出始めている。今後、農業をされている中で、こういうデータがあったら、もっと生産性が高まるなど、挑戦をしていただきながら、教育とどう連携させるかを考えていただければと思う。当別では農業10年ビジョンを推進している。その中に書かれていることだけではなく、時代に合わせて高めていくことも必要で、今後農協、役場を通して、どうしたらいいか。また視野を広げて、高校と大学とどう連携するか、などご意見を

いただければと思う。

○（町民） 子育てをしたいと思える環境として、よく聞くのは、買い物、太美には薬局がないので、買う場所が欲しいところである。子どもの急な病気に対応ができる小児科があると便利。札幌から若い人を呼び込むには学力が必要で特色あるプログラムがあればいいと思う。例えば英語に特化するとか、勉強についていけない子どもをフォローするプログラムを取り入れるなど、東川町では成功をしていた。教育関係に関する予算がもう少し増えればと思う。地域の力も必要と思うが、現在通学合宿を行っている。通学合宿がこの間文部科学大臣賞を受賞した。地域の取り組みは大事なことと思う。これを機に町内会、まわりのお爺ちゃん、お婆ちゃんに声をかけるとか、孤立しないとか、子どもに危険がある場合に、すぐ駆け込める場所を用意するとか、声かけ運動をするなど不審者を出さないように気をつける体制があれば、ここに住んでみたいということになると思う。

○（議会） 何点か話があったが、力を入れていかなければいけないのは、教育と思っている。西当別小のピークの人数は780人、この4月は270人。やはり、札幌から教育で呼び込むこまないと減少の歯止めは効かないと思う。教育委員会を中心に努力をしていかなければいけない。少しでも学力アップと好奇心を持つ子どもに育てていくということが必要である。

○（議会） 音威子府高校について、スウェーデンのレクサンド高校と姉妹関係にある。当別町もレクサンド市と姉妹都市で、以前から当別高校と音威子府高校とレクサンド高校との木工を通しての高校生の交流事業をしてはどうかという話がある。当別町はスウェーデンというひとつのブランドがあり、当別と言えばスウェーデンと交流している町だということは差別化になると思っている。当別高校も農業科から園芸科にすると色々と人が集まったと聞いている。生き残れる方法はまだまだあると思っている。教育委員会で人材育成ということで奨学金を充実させようと今年から始めている。ロータリークラブ、ライオンズクラブ、当別町が資金を出し制度をつくり、そこから優秀な子どもを育てる。将来、当別高校から医療大学に定員の何人かは入れるなどの構想があってもいいと思う。当別の教育が全国から見て、行ってみたい学校があるということになっていけばいいと思う。

（議会） 内科はあるが小児科はないという話があった。夜間救急診療のとき、内科が中心なので、子どものときは対応できない。出す薬が大人用しかないので断られることもあると聞く。妊娠されている方で、当別には産婦人科がないので、冬だと自分で車を運転するという不安を抱えている方もいると聞く。例えばボランティアでお年寄りが申し込みをすると通院の送迎のボランティアがある。母子手帳をもらった方に対するケアを充実させるということで、スタッフが揃っている中で、手厚く病院へ送り届ける。そういったサービスを行政がするようにするなど、本当は、病院があればいいが、それに代わる何かということで、当別町に住むきっかけになるようなサービスがあるといいのではと感じる。

（町民） 高校に入ると西当別地区の子は JR を使うが、その JR 代がかなりかかるので、助成があれば、半額でも3割でも各家庭で負担が減り、特色ある町として謳っ

ていけると思う。また当別町は、子育てに対して積極的だというアピールにもつながっていくと思う。

○（町民） 町外から当別高校に通う子どもに対して、1年間に限り半額、または3割の助成をすることもいいのではと思う。

○（町民） 第2子から助成をするというのがありますが、年が離れすぎると小学校に入ったら、助成がかからなかったり、幼稚園だと小学校3年生までは半額になったり、保育園ではそれがなくて、少し年が離れた場合の助成があれば、次の子どもを作りやすいのではと思う。何歳離れても2子は半額という方式をとってもらえれば兄弟は増えていくのではないかと。

○（議会） 1子が卒園してしまったら、次の子が入るときはまた1子になるということは、考えていかなければいけないと思う。

○（町民） 標茶町から今年転入してきた家族がいるが、標茶町では子どもに対する医療費について、かかった分は申請をすると町で使える商品券で全額還付されることなので、そうすることで、町にもお金が落ちるので、いい話と思った。

○（議会） 検討させていただきたい。雇用環境、住宅環境について、伺いたい。

○（町民） 本町地区の商店街について、年々、お客も減っているが、アルバイトの人も減って、営業時間の短縮したりして、店主からこの先やっていけるか不安という声もたまに聞く。商店街の若返りの方法がないかを考えられないかと思う。高校も大学もあるので、やる気のある方を誘致したりするなどのサポートがないと商店街も町の人たちが集って、楽しむ所がないと町の魅力が薄れていくと思うので、いい方法があればやっていただきたい。

○（議会） 商店街の活性化は、商工会が中心となって、町と協議しつつ考えてもらいたいと思う。商店街の活性化の具体的なビジョンを作っていただき、確実に推進していくようにしてほしい。

○（議会） 農業が活性化しなければ、町は元気にならないということで農業10年ビジョンを作り、それが町の活性化につながる。教育の部分での特色やスウェーデンとの交流がある町ということで、特色ある町づくりができれば、少子化対策にもつながると思う。

○（町民） 子育て世代から話が出てくることは、1戸建て以外だと家族で住む場所がないということである。2DKのアパートが少ない。アパートの家賃が札幌市並に高いので、補助や助成があれば助かる。商店街や農業もそうかもしれないが、就農や起業したいという話を聞くが、外部の人間が入るにはハードルが高いという話を聞く。若返りを図るなら新陳代謝をさせていかなければいけないと思う。役場としてできることを対応していかなければ進まないのではと思う。

○（議会） アパートも学生対象が多いと思う。子育て世代が入るには少ないかもしれない。おとといギンザシックスがオープンしたが、地域の商店の人も結構入っているとのことである。例えば当別でも、商店街が1つの建物に入っても面白いと思う。

○（町民） 石狩市のJAで行っている、グリーンサポーター制度というのがあり、以前、登録して、土日トマト農家へ行って、トマトを作っていた。自分の時間が空い

たときにちょっとだけ働くことができる制度だったので、当別にもあれば農家へ気軽にアルバイトへ行くことができると思う。太美駅前の店舗がどんどんと無くなっている。駅の中や付近に、遅くまで営業するスーパーとそれに併設している飲食店があったりするといいのではと思った。

○（議会） 当別では農家のアルバイトは個別ならあるかもしれない。学生のアルバイト先がないので定住しないことから、学生向けに各企業にお願いして、アルバイト先を短時間でできるものを町で検討していると聞いている。役場の庁舎が耐用年数が過ぎていて、今後庁舎を10年から15年以内に建替えなければならないなど、公共施設の見直しをしている。皆さんから要望の多い図書館をどうするかという問題がある。要望としては、市立図書館のような併設型もしくは単独型でもいいので作ってもらいたいという意見がある。皆さんはどういう図書館があったらいいと思うか。今後どういう図書館を作ったらいいか、意見をお伺いしたい。

○（町民） 小中一貫校を作るのであれば、その中に図書館を併設して、町民と小学生が同じ空間を行き来できるような環境を作ると学級崩壊みたいなことが減るかもしれない。

○（町民） 自習の場所として図書館を使うケースがある。自習のスペースがあればいいと思う。マンガや飲食、談話ができるようになれば楽しくなると思う。

○（町民） 学校やプレイハウスの近辺に併設して、親が迎えに来たときの待合場所のついでに本が読めたらいいと思う。

○（議会） 最後に何かあれば。

○（町民） 学校の施設に何かあったら、または古いからだめだということを教育委員会に話をしても予算がということで蹴られてしまう。学校側の要望を教育委員会が精査しているのか。議員さんへ教育委員会の予算に対しての精査をしていただきたいと要望する。北海道に対する話になるが、道道81号線は上りあたりで歩道の一部無い、南1号線は堤防から歩道が無い。最近、自転車に乗っている人が多いので、安心して乗れるように北海道に働きかけをしてほしい。スウェーデン通りの街灯について破損している部分が多く、LED化にしているが、スクールゾーンを中心にやっていくということを聞いた。太美の駅から中学校までで、中学校から獅子内の団地まではどうするのか。一気に中学校までのスクールゾーンを直すのではなく、そのうちの3割なり、獅子内から中学校までの間にまわしていただきたい。16線の遊々公園前の道に大きな水溜りができるので道路、歩道整備をしてほしい。

○（議会） 学校の予算について、我々もチェックしているつもりだが、我々が予算に対するときは、財源を考えなければいけないが、一所懸命取り組んでいきたいと思う。出されたことはこれから町とも協議することになるかと思うが、町へしっかりと伝えていきたい。水溜りが早く解消されるよう町へ伝えたいと思う。

○（議会） 教育予算について、予算の精査ということを3月の議会で、特別委員会を設置して、議会全体で予算の審議をした。各小中学校から要望がかなりの件数が上がっていると思う。それを教育委員会の中で優先順位を決め、町側と折衝しながら毎年計画的に改善していると思う。地元の要望が特にあるものは議会としてこれからそ

ういう要望に応じていくようにしていかなければいけないと思う。

○（議会） 今日お聞きしたことは、議会活動の中に反映されていくと思う。議会運営委員会で皆さんからいただいたご意見を、町へ伝えるもの、議員で検討するもの、など仕分けをしながら活動に活かしていくことが議会報告会の趣旨なのでこれからもやっていきたいと思う。

◎閉会（島田副議長） 将来の町づくりについて、議会と皆さんとこれから行政が考えていかななくてはいけない課題を今日、話し合ったということを実感させていただいた。非常に内容のある時間だったと思っている。皆さんからいただいた要望を一般質問、委員会の中で参考にしながら議会活動に役立てたいと思う。議会で検討できることは、議会で検討し、行政が解決しなければいけないものは、行政へ伝えていく。4月18日にゆとろで行われたものと併せて、議会だより等で報告できると思うので、今後とも議会報告会を注目していただきながら議会に声を寄せていただきたい。